

この紙面とほぼ同じ体裁になるよう、課題用ファイルを加工しなさい。
ただし、末尾の3つの指示は指示に従って課題用ファイルを修正しなさい。

専攻（ ） 学籍番号（ ） 名前（ ）

読み仮名をつけることを「ルビを振る」と言います。「ルビ」の語源は、読み仮名に 5.5pt の活字を使い、5.5pt の活字を「ルビー」と読んでいたことに由来します。

親譲りの無鉄砲おやゆず むてっぽうで小供の時から損ばかりしている。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰こしを抜ぬかした事がある。なぜそんな無闇むやみをしたと聞く人があるかも知れぬ。

ルビを振って下さい。この段落のみ行間を固定値 18.5pt にしています。

夏目漱石「坊っちゃん」から引用

Word で画像を扱うときは解像度の劣化に注意する必要があります。デフォルトでは画像を挿入した後の1回目のセーブ時に解像度が劣化します。解像度を落とすか否かは「図ツール：書式」→「調整：図の圧縮」で設定します。図の圧縮にチェックが入っていると、画像の解像度を落としてからセーブします。デフォルトでは 220ppi (1 インチ (2.54cm) に 220 個のピクセル) にします。



鹿の写真を挿入し、トリミングした後、図の形状を角丸四角形に設定して下さい。

たぬきの写真を挿入し、トリミングした後、図の形状を楕円に設定して下さい。



図や画像は加工することができます。「図ツール：書式」→「サイズ：トリミング」で不要な部分を捨てます。さらに「図ツール：書式」→「図のスタイル：図の形状」で図の形を楕円、星形、三角形など色々な形に切り抜くことができます。

Worda の文章作成支援機能を2つ紹介します。一つ目は「置換」です。「ホーム」→「編集：置換」です。

2 つ目はスペルミスなどの指摘機能です。「Office ボタン」→「Word のオプション」→「文章校正」→「Word のスペルチェックと文章校正」の5項目にチェックを入れます。英文や和文のスペルミスには赤線が引かれます。

文法誤りや表記の揺れに緑線が引かれます。This is an pen. という英文や「食べれる」という表現や「コンピューター」と「コンピュータ」が混在しているときに指摘してくれます。

文章中の「画像」を全て「写真」に置換して下さい。

赤線が引かれている箇所 3 箇所を修正しなさい。

緑線が引かれている箇所があります。最後の3行中に存在する4箇所について、緑線が引かれないよう修正しなさい（表記の揺れはどちらかに統一）。